

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ヒート	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.038	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ヒート

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ヒート・ラヴァ

フレアーの幅 インチ

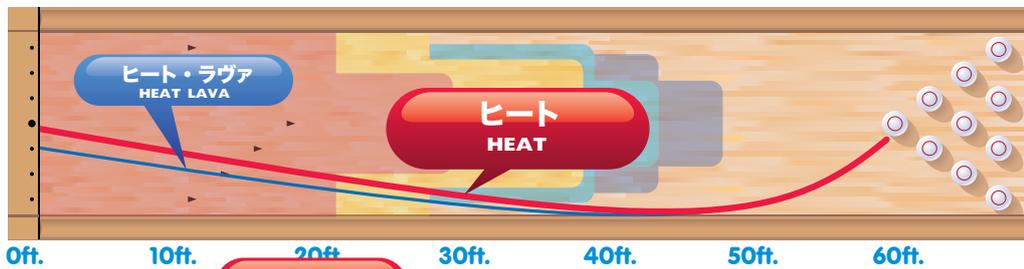
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

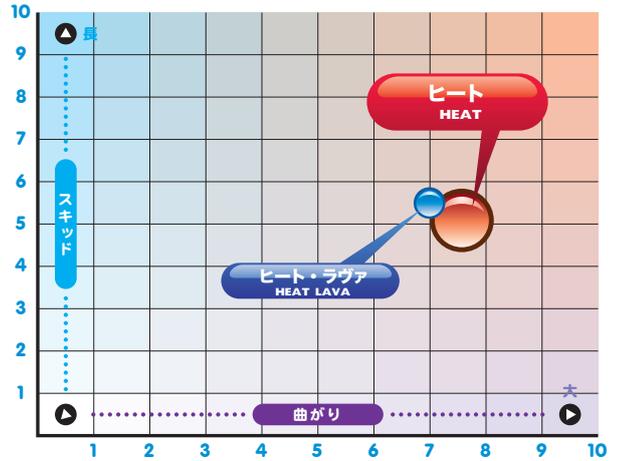
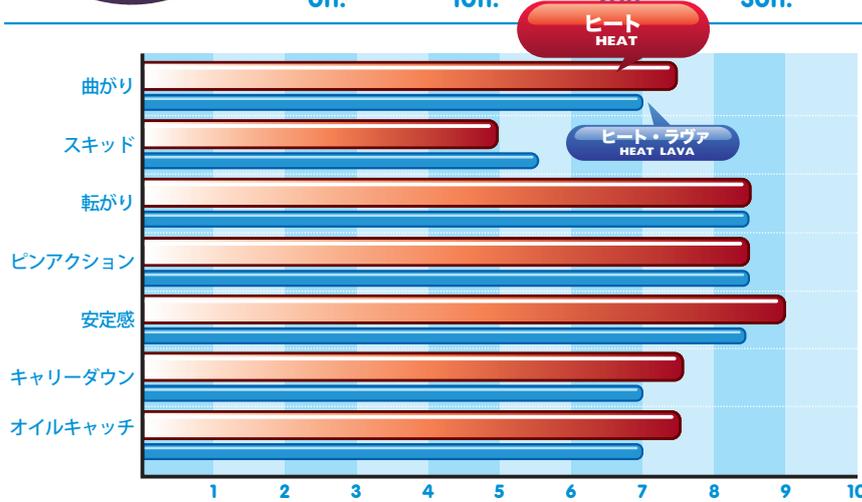
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Modified Tri-CoreのHEATとえば、ミッドパフォーマンスを担うとても重要なシリーズとして、派手さよりも軌道を安定させる、いわば”後半はHEATでスコアをまとめる”という盤石のラインナップの一つでした。

DR-7 SolidリアクティブはKINETIC OBSIDIANと同じカバーですが、工場が変わる前の旧DR-7と新DR-7ではフロントエリア（ボールが落ちる部分からスパットエリア付近）のキャッチのねばり具合が異なり、新DR-7のほうがより安定してオイルをとらえる傾向があります。そのオイルのとらえ方がミッドを越えてからバックエンドまでつながり、安定感のある軌道を生みます。

ABS専属の山本勲プロもテストの段階で「自分が思っている以上に転がりがあり、グリップ力のあるカバーだが、噛みすぎるイメージは無くより安定感があるので、他のソリッドカバーのボールよりピン飛びも良くなっているように感じました。」という好印象の感想を頂きました。私も同様に全体的なレベルが高く仕上がっており、ハイパフォーマンスボールの次にすぐにでも使用できるボール性能を持ち、少し表面がダル状態なので手前のオイル量にも対処が効く部分、かなり練りに練って作られたのだろうと投球をすると分かります。こういう性能のボールは手前のオイルやミッドのオイル、バックエンドの割れ具合を的確に判断でき、オイルの有無のオーバーリアクションを最小限に抑えてくれます。ラインが少し外れた場合でも納まってくれる傾向もある為、コントロール性を考えたときに非常に良い仕事をしてくれるボールだと思います。

特記事項

ミッドパフォーマンス領域で活躍したHEATがさらにバージョンアップしてリリース致します。キャッチと転がり、バランスの取れた曲がりと強化されたピンキャリーが高いレベルの仕上がります。